

【中期計画の基本理念と目的】

地域での実践と、世界とのつながりを生かして、“からだを育み、こころを育み、きずなを育む” 私たちは、保健・医療・福祉・介護・教育・スポーツ等の諸分野にまたがる調査研究・教育啓発・情報発信等の活動を地域で実践し、各活動に関連する幅広いネットワークを生かすことによって、全ての人の健康づくりと公共政策づくりに寄与し、誰もが「からだを育み、こころを育み、きずなを育み」ながら、地域で暮らし続けることを実現します。

【事業内容（定款第 4 条）】

➤ 「公益認定に伴う公益目的事業の区分」と「定款第 4 条に定める事業区分」との対応

(公 1) 身体教育医学に関する調査研究事業	(1) 身体教育医学に関する調査研究 (2) 調査研究事業の受託及び協力
(公 2) 健康づくりに関する事業受託、講演会・教室への講師派遣、相談指導等の教育啓発事業	(2) 健康づくり事業等の受託及び協力 (3) 講演会、健康づくり教室等への講師派遣 (4) 健康づくりに関する相談及び指導
(公 3) 法人主催の研修会、出版物の発刊、収集した文献の一般公開等による情報発信事業	(5) 講演会、講習会、研究会等の開催 (6) 学術機関誌・一般啓発用資料他出版物等の発行 (7) 身体教育医学に関する文献等の収集及び閲覧
※内容により (公 1) ~ (公 3) のいずれかに該当	(8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(公 1) 身体教育医学に関する調査研究事業

(1) 身体教育医学に関する調査研究

1. 厚生労働科学分担研究

- ① 平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業)『『統合医療』エビデンス評価の 2 段階多次元スケールの開発と分類及び健康被害状況の把握に関する研究(公募番号 24201901)』非東アジア伝統医学の属性分析とエビデンス評価(動物介在療法を例に):岡田真平

2. 外部資金による調査研究事業

- ① 平成 24 年度地域発元気づくり支援金(長野県)「障がい児者の健康づくり運動ニーズに対応するための環境整備事業」:岡田佳澄
- ② 平成 24 年度日本レジャー・レクリエーション学会研究助成金「未就園の親子を対象とした自然環境下でのレクリエーション活動が、子どもの育ち及び保護者の日常的な子への関わり方に与える影響に関する質的研究」:渡邊真也

3. 学術論文

- ① **朴相俊, 岡田真平, 永島美典, 井原こずえ, 征矢野あや子, 堀内ふき, 今村晴彦, 久堀周治郎.** 長野県東御市における心の健康に関する実態調査. 身体教育医学研究. 2012; 13(1): 15-23.
- ② **朴相俊, 岡田真平, 永島美典, 征矢野あや子, 堀内ふき, 奥泉宏康, 今村晴彦.** ヘルスコミュニケーション方法論を活用した地域における心の健康づくり事業~1年間の取り組みから見えてきたもの~. 自殺予防と危機介入. 2013; 33(1): 34-45.
- ③ Kamioka H, Tsutani K, Mutoh Y, Honda T, Shiozawa N, **Okada S, Park SJ,** Kitayuguchi J, Kamada M, Okuizumi H, Handa S. A systematic review of randomized controlled trials on curative and health enhancement effects of forest therapy. Psychol Res Behav Manag. 2012; 5: 85-95.

4. 学会発表

- ① **朴相俊, 岡田真平**, 永島美典, 征矢野あや子, 堀内ふき, 奥泉宏康, 今村晴彦, **久堀周治郎**. ヘルスコミュニケーション方法論を活用した地域における心の健康づくり事業～1年間の取り組みから見えてきたもの～. 第36回日本自殺予防学会, 東京, 2012. 9. 14
- ② **朴相俊, 岡田真平**, 永島美典, **久堀周治郎**. 地域住民の心の健康づくりのための健康行動支援. 第38回日本行動療法学会, 京都, 2012. 9. 22.
- ③ **朴相俊, 岡田真平**, 永島美典, 征矢野あや子, 今村晴彦, 堀内ふき. 自殺予防のゲートキーパー教育が参加者のソーシャル・キャピタルに与える影響. 第71回日本公衆衛生学会, 山口, 2012. 10. 25
- ④ **岡田真平, 朴相俊**. 幼児の運動能力の育ちと発達障害関連特性との関係について. 第14回日本健康支援学会, 京都, 2013. 3. 8

(2) 調査研究事業の受託及び協力

1. 調査研究事業

- ① 東御の子どもの元気な育ちを支えるネットワーク・平成24年度長野県新しい公共の場づくりのためのモデル事業「未来ある子どもたちへの就学前後のシームレスな発達支援体制づくり事業」事業統括・データ分析・プログラム開発・啓発資材作成：全所員
- ② 医療法人アレックス・データセンターデータ分析・研究推進支援：朴相俊・岡田真平
- ③ 東御市保健係「心の健康づくり事業評価」「市内事業所メンタルヘルス調査」：朴相俊
- ④ 東御市高齢者係「介護予防評価分析事業委託」：岡田真平
- ⑤ 東御市地域包括支援係「高齢者虐待への介護従事者意識調査分析」：岡田真平・朴相俊

(公2) 健康づくりに関する事業受託、講演会・教室への講師派遣、相談指導等の教育啓発事業

(2) 健康づくり事業等の受託及び協力

件数 延人数

2. 健康づくり事業等

計 738 件 16395 人

- | | | |
|----------------------------------|----|-------|
| ① 東御市健康保健課健康増進係 | | |
| 1) 運動教室等指導 (集団) | 44 | 873 |
| 2) 運動教室等指導 (個別) | 36 | 36 |
| 3) 特定保健指導 (積極的支援) | 9 | 9 |
| 4) 特定保健指導 (動機づけ支援) | 20 | 20 |
| 5) キホンの運動教室 | 10 | 66 |
| 6) 国保ヘルスアップ事業 | 11 | 11 |
| ② 東御市健康保健課保健係 | | |
| 1) 精神保健事業 (ワークショップ、スクール、フォローアップ) | 37 | 502 |
| ③ 東御市福祉課高齢者係 | | |
| 1) 特定高齢者把握事業 (健脚度測定) | 42 | 425 |
| 2) 介護予防普及指導員派遣事業 | 83 | 1829 |
| 3) 介護支援ボランティア育成事業 | 9 | 72 |
| ④ 東御市福祉課福祉援護係 | | |
| 1) 障がい児プール運動あそび教室 | 11 | 55 |
| 2) 母子寡婦会運動教室 | 2 | 41 |
| ⑤ 東御市子育て支援課保育係 | | |
| 1) 運動あそび事業 | 81 | 5040 |
| ⑥ 東御市子育て支援課子育て支援係 | | |
| 1) わんぱくピクス | 5 | 128 組 |
| ⑦ 東御市同和人権政策課人権啓発センター | | |
| 1) 地域交流事業 (柵津・加沢・北御牧) | 33 | 202 |
| ⑧ 東御市生涯学習課生涯学習係 | | |
| 1) 高齢者大学、たけのこ学級 | 3 | 50 |

⑨ 東御市立みまき温泉診療所		
1) リハビリテーション指導助手	26	197
⑩ (福)みまき福祉会		
1) 介護予防センターみまき運動指導(委託元:東御市高齢者係)	36	449
2) ケアポートみまき総合相談事業	随時対応	
⑪ (福)東御市社協		
1) 介護予防センターくらかげ運動指導(委託元:東御市高齢者係)	36	320
2) 職員メンタルヘルス研修会	2	58
⑫ 立科町		
1) 通所型介護予防事業(あした塾)	25	127
2) はつらつ健康講座	12	170
3) 健康サポーター養成講座	4	27
4) 町立保育園運動あそび業務	32	1300
5) 親子体操	11	109組
6) 糖尿病予防教室	1	4
7) 温泉ゆったり健康教室	12	213
8) ダイエット教室	8	56
9) メタボ改善教室	5	23
10) 筋力アップ教室	3	90
⑬ 御代田町		
1) 介護予防教室	4	413
2) 介護予防サポーター養成	1	60
3) 働き盛りの健康実践セミナー(依頼者:NPO 佐久平総合リハ)	1	30
4) 健脚度測定	14	244
⑭ 下諏訪町		
1) いきいき元気健康教室	3	210
⑮ 中野市		
1) ゲートキーパー育成研修会	2	150
2) 職員健康講座	1	125
⑯ 富山県入善町		
1) 介護予防事業支援	2	190
⑰ 福岡県大刀洗町		
1) 介護予防事業支援	2	35
⑱ 島根県邑南町		
1) ゲートキーパー育成事業	4	240
2) 自殺対策のための関係者連携会議	1	12
⑲ その他		
1) 東御市田楽平区健康サロン	14	97
2) 東御市北御牧地区友遊クラブ(みまきっ子体験クラブ)	6	294
3) ケアポートみまきスポンジテニスサークル	13	58
4) 農協(大北・中野・佐久浅間・信州諏訪・木曾・須高)職員健康講座	17	1660
5) 信毎女性セミナー	4	75

(3) 講演会、健康づくり教室等への講師派遣

計 133 件 3910 人

1. 授業講師

① 長野大学非常勤講師(前期)「地域ケア論」(岡田真平他)	2	30
② 信州短期大学非常勤講師(後期)「健康づくり運動論」(岡田真平)	15	118
③ 佐久大学非常勤講師(後期)「運動と健康」(朴相俊)	23	642
④ 豊野高等専修学校「ソーシャル・スキル」(朴相俊)	14	172

⑤ 長野救命医療専門学校（後期）「運動学」（朴相俊）	15	141
2. 講演会、健康づくり教室講師：依頼に応じて随時対応（別表）	64	2807

（4）健康づくりに関する相談及び指導	計 151 件	518 人
1. 研究所独自の相談窓口	81	81
2. f mとうみ：こころのラジオ「COCOらじ」（午前11：00～11：55）	毎週水曜	-
3. 地域発元気づくり支援金事業【外部資金による調査研究事業を含む】 わくわくスポーツクラブ（ボッチャ教室）	3	54
4. 新しい公共の場づくりモデル事業【受託による調査研究事業を含む】 里山探検活動「キラキラ」（2-3歳児の親子活動）	15	167組
里山探検活動「ドキドキ」（年中から小1の子ども活動）	10	216
モデル小学校支援（田中小学校）	42	-

（公3）法人主催の研修会、出版物の発刊、収集した文献の一般公開等による情報発信事業

（5）講演会、講習会、研究会等の開催		
1. 第3回しんたい学会	10/14	30名
2. 障がい児者への運動・スポーツ実施支援研修	12/17	14名
	3/23	31名

（6）学術機関誌・一般啓発用資料他出版物等の発行		
1. 学術機関誌：身体教育医学研究第14巻の発行		発刊

（7）身体教育医学に関する文献等の収集及び閲覧		
1. 研究所図書室の充実		1914冊

（8）その他この法人の目的を達成するために必要な事業		
1. 各種団体役員		
① 一般財団法人運動器の10年・日本協会理事（岡田真平）		
② 社会福祉法人みまき福社会理事（岡田真平）		
③ 身体教育医学研究所うなん運営委員（岡田真平）		
④ 転倒予防医学研究会総務委員長（岡田真平）		
⑤ NPO法人日本健康運動指導士会長野県支部副支部長（岡田真平）		
⑥ 信州公衆衛生学会編集委員（岡田真平）		
⑦ 運動疫学研究会編集委員・プロジェクト研究委員（岡田真平）		
⑧ 公益財団法人健康・体力づくり事業財団・指導者養成カリキュラム検討委員（岡田真平）		
⑨ 東信地区障害者スポーツ指導員協議会・監事（岡田佳澄）		
⑩ 公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団・ワークショップ世話人（朴相俊）		
⑪ 東御の子どもの元気な育ちを支えるネットワーク（平成24年度長野県新しい公共の場づくりのためのモデル事業）・協議体委員（岡田真平・朴相俊・渡邊真也）		
2. 書籍・新聞・雑誌等への掲載		
① 障害者向け スポーツ情報 HPでイベント案内（信濃毎日新聞、2012.6.2）		
② 健康長寿 研究者らシンポ 老年社会科学会 県内初開催（信濃毎日新聞、2012.6.10）		
③ 寝たきり・認知症 どう予防 小諸で講演 体操も学ぶ（信濃毎日新聞、2012.6.27）		
④ 心も体も健康で暮らせるように支え合う地域づくりへ（へるすあっぷ21、2012.8.1）		
⑤ 健康な足腰を保つには 飯田で講演 体操も紹介（信濃毎日新聞、2012.8.9）		
⑥ 信毎女性セミナーレポート「いつまでも“健脚”を保つコツ」（週刊いいだ、2012.8.30）		
⑦ 健康づくりを広く浸透させるには？（へるすあっぷ21、2012.9.1）		
⑧ 信毎健康フォーラム「からだを守る日常のケア」（信濃毎日新聞、2012.9.6）		
⑨ 信毎女性セミナーレポート「いつまでも“健脚”を保つコツ」（週刊すわ、2012.10.05）		

- ⑩ 保健・医療・福祉に運動・スポーツを取り入れた試み（月刊自治研、2012. 10. 05）
- ⑪ もてなしの心育もう 小諸で研修会 浅間山麓国際自然学校（東信ジャーナル、2013. 1. 23）
- ⑫ 「東御の子どもの元気な育ちを支えるネットワーク」の取り組み（市報とうみ、2013. 2. 1）
- ⑬ 子どもの主体性尊重「里山探検活動ドキドキ」（東信ジャーナル、2013. 2. 21）
- ⑭ 信州「長寿力」に磨き 「健康」次の課題に（信濃毎日新聞、2013. 3. 1）
- ⑮ 社説「長寿を喜べるように 平均寿命1位」（信濃毎日新聞、2013. 3. 2）
- ⑯ 障害者も健常者も楽しくスポーツを（信濃毎日新聞、2013. 3. 29）
- ⑰ アダプトッドスポーツ 総合型クラブ中心に環境整備（東信ジャーナル、2013. 3. 29）
- ⑱ しんたい (shin-tai) の「ちょっと耳寄りな話」（市報とうみ、毎月発行、各所員投稿）
- ⑲ 知っ得！お湯に浸かっていきいき健康（JA 長野健保「健保の窓」、季刊誌、4 回シリーズ）

3. 外部関係機関との連携事業

- ① 東京農業大学上岡研究室関係者 6 名受け入れ（2012. 8. 7-10）
- ② 国際武道大学インターンシップ 1 名受け入れ（2012. 8. 7-25）
- ③ 運動疫学研究会・運動疫学セミナー40 名受け入れ（2012. 8. 26-28）
- ④ 東京大学野崎ゼミ・中澤ゼミ 20 名受け入れ（2012. 9. 2-3）
- ⑤ 東京大学体験活動 2 名受け入れ（2012. 9. 12-21）
- ⑥ 中京大学インターンシップ 1 名受け入れ（2013. 1. 23-2. 3）
- ⑦ 東京農業大学上岡研究室関係者 7 名受け入れ（2013. 3. 4-7）

【運営関係スケジュール】

6 月 2 日（土）	第 1 回理事会
6 月 13 日（水）	第 1 回評議員会
6 月 28 日（木）	業務執行理事会（所内会議と合同）
7 月 19 日（木）	新旧代表理事引継会
7 月 31 日（火）	業務執行理事会
9 月 14 日（金）	業務執行理事会
10 月 12 日（金）	業務執行理事会
10 月 14 日（日）	第 2 回理事会、活動報告会（しんたい学会）
10 月 29 日（月）	業務執行理事会
12 月 3 日（月）	業務執行理事会
12 月 13 日（木）	業務執行理事会
1 月 10 日（木）	業務執行理事会（所内会議と合同）
1 月 11 日（金）	評議員選任等委員会・評議員選任決議 評議員会・監事選任決議
2 月 12 日（火）	業務執行理事会
2 月 16 日（土）	第 3 回理事会

【別表】

(3) 講演会、健康づくり教室等への講師派遣

2. 講演会、健康づくり教室講師の詳細

日付	依頼事業名	依頼元	担当	件数	延人数
2012/5/16	市内 女団連総会記念講演	東御市女性団体連絡協議会	朴	1	45
2012/6/23	市内 楽しいレクリエーション	上田支部手をつなぐ育成会	佳澄	1	50
2012/7/6	市内 社会福祉士研修会	介護福祉士協議会	朴	1	36
2012/8/31	市内 学校保健委員会	田中小学校	岡田・渡邊	2	45
2012/9/17	市内 敬老会体操	北御牧公民館	岡田	1	100
2012/10/8	市内 東御市体育大会体力測定	東御市スポーツ推進委員会	渡邊	1	15
2012/10/13	市内 ウォーキング教室	常田保健補導員	渡邊	1	25
2012/12/8	市内 公認コーチ養成講習会	長野県バスケットボール協会	岡田	1	40
2012/1/23	市内 生涯学習まちづくり出前講座	(株)日信工業	朴	1	50
2013/1/26	市内 親子参観講演	東保育園保護者会	渡邊	1	40
2013/3/1	市内 在宅介護者リフレッシュ研修会	東御市社会福祉協議会	朴	1	10
2013/3/13	市内 職員のメンタルヘルス研修会	みまき福祉会	朴	1	42
2013/3/23	市内 加沢区福祉の集い	加沢区福祉実行委員会	朴	1	40
2012/4-2013/3	市内 韓国語講座	東御市生涯学習課生涯学習係	朴	10	85
2012/5/2	県内 保育士研修会	聖ミカエル保育園	渡邊	1	30
2012/6/9	県内 日本老年社会科学会	日本老年社会科学会事務局	朴	1	30
2012/6/23	県内 岸野スポーツクラブ教室	岸野スポーツクラブ事務局	朴	1	35
2012/6/26	県内 講演会	荒町区保健推進員	岡田	1	50
2012/8/22	県内 第40回青少年補導センター 東信4市連絡会	東御市教育委員会生涯学習課	朴	1	53
2012/9/1	県内 信毎健康フォーラム	信濃毎日新聞社	朴	1	180
2012/9/26	県内 シニア大学フォーラム	長野保健福祉事務所	岡田	1	600
2012/9/29	県内 もちつきタイニーキャンプ	望月少年自然の家	渡邊	1	60
2012/10/28	県内 長野県スポーツ少年団 市町村研修会母集団研修会	長和町教育委員会	渡邊	1	17
2012/11/19	県内 中央地区社協住民会議講演	上田市中央地区自治会連合会	岡田	1	40
2012/10/19-20	県内 外遊びの習慣を取り戻す 仕組みとは?	信州発全国アウトドア&ネイチャー フェスタ2012in信州白馬	岡田・渡邊	2	100
2012/11/24-25	県内 第16回転倒予防指導者養成講座	転倒予防医学研究会	岡田・渡邊	2	36
2012/12/14	県内 家庭介護者親睦会	立科町地域包括支援センター	横井	1	10
2013/1/10	県内 すずらん学級・ 認知症ネットワーク講演会	立科町教育委員会・地域包括	岡田	1	30
2013/1/17	県内 おもてなし研修会	NPO法人浅間山麓自然学校	朴	1	45
2013/2/7	県内 病院職員の健康講座	JA長野厚生連 小諸厚生総合病院	朴	1	100
2013/2/23	県内 支部会健康講演	JA佐久浅間女性会しらかば支部	渡邊	1	60
2013/2-2013/3	県内 健康教室	NPO法人信州アグリトリアル	横井	4	16
2013/3/11	県内 病院職員の健康講座	JA長野厚生連 篠ノ井総合病院	朴	2	180
2013/3/22	県内 認知症を知る講演会	小諸市高齢者福祉課	岡田	1	60
2013/3/23	県内 小諸市森山区サロン	小諸市社会福祉協議会	岡田	1	60
2013/3/26	県内 保健委員研修会	立科町町民課保健係	渡邊	1	60
2012/5/1	県外 介護予防運動指導	東京工科大小松研究室	渡邊	7	140
2012/6/2	県外 アートとおもちゃの遊び学校	芸術教育研究所	岡田	1	15
2012/7/20	県外 東京大学総長補佐合宿	東京大学	横井	1	50
2012/10/3	県外 雲南市健康講演会	島根県雲南市	岡田	1	79
2012/10/15	県外 SciREXプレスト会議	文部科学省	岡田	1	40
2013/2/1	県外 「高齢者の虚弱化予防」に関する勉強会	東京大学高齢社会総合研究機構	岡田	1	8
計				64	2807

貸借対照表

公益財団法人身体教育医学研究所

平成25年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
〔資産の部〕			
【流動資産】			
現金預金	2,192,399	965,379	1,227,020
未収金	9,724,745	10,792,720	△ 1,067,975
立替金	4,115,574	37,875	4,077,699
流動資産合計	16,032,718	11,795,974	4,236,744
【固定資産】			
（基本財産）			
その他基本財産	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
（その他固定資産）			
車両運搬具	245,370	572,820	△ 327,450
什器備品	1,162,584	675,919	486,665
ソフトウェア	80,500	0	80,500
権利	409,820	0	409,820
その他固定資産合計	1,898,274	1,248,739	649,535
固定資産合計	4,898,274	4,248,739	649,535
資産合計	20,930,992	16,044,713	4,886,279
〔負債の部〕			
【流動負債】			
未払金	4,683,394	5,058,531	△ 375,137
預り金	481,166	450,054	31,112
短期借入金	3,000,000	0	3,000,000
流動負債合計	8,164,560	5,508,585	2,655,975
負債合計	8,164,560	5,508,585	2,655,975
〔正味財産の部〕			
【指定正味財産】			
民間補助金	174,375	406,875	△ 232,500
寄付金	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産合計	3,174,375	3,406,875	△ 232,500
（うち基本財産への充当額）	(3,000,000)	(3,000,000)	0
【一般正味財産】	9,592,057	7,129,253	2,462,804
正味財産合計	12,766,432	10,536,128	2,230,304
負債及び正味財産合計	20,930,992	16,044,713	4,886,279

平成24年度正味財産増減計算書

公益財団法人身体教育医学研究所

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで (単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	752	236	516
事業収益	25,961,881	25,043,082	918,799
調査研究事業収益	2,400,000	1,200,000	1,200,000
受託協力事業収益	16,888,169	18,169,065	△ 1,280,896
講師派遣事業収益	5,887,836	4,383,285	1,504,551
相談指導事業収益	43,500	114,300	△ 70,800
研究会等開催事業収益	3,000	4,000	△ 1,000
出版物用発刊事業収益	715,371	550,832	164,539
その他事業収益	24,005	621,600	△ 597,595
受取補助金等	7,432,500	6,936,500	496,000
地方公共団体補助金	7,200,000	6,704,000	496,000
民間補助金	232,500	232,500	0
受取寄付金	171,000	0	171,000
寄付金収益	171,000	0	171,000
雑収益	655	1,911	△ 1,256
受取利息	655	1,911	△ 1,256
経常収益計	33,566,788	31,981,729	1,585,059
(2) 経常費用			
事業費	30,977,054	25,996,399	4,980,655
給料手当	13,231,861	13,628,354	△ 396,493
臨時雇賃金	2,164,245	1,484,378	679,867
退職給付費用	720,000	860,000	△ 140,000
法定福利費	2,088,965	2,013,288	75,677
福利厚生費	39,630	42,630	△ 3,000
旅費交通費	3,030,209	1,727,632	1,302,577
通信運搬費	123,082	82,190	40,892
減価償却費	696,897	405,441	291,456
消耗什器備品費	114,735	376,022	△ 261,287
消耗品費	544,014	341,056	202,958
修繕費	138,352	141,607	△ 3,255
印刷製本費	845,987	964,061	△ 118,074
燃料費	620,158	619,125	1,033
光熱水料費	305,000	305,000	0
賃借料	130,550	20,000	110,550
保険料	176,310	13,303	163,007
諸謝金	859,627	386,720	472,907
租税公課	646,200	0	646,200
支払負担金	838,020	376,835	461,185
委託費	3,387,615	2,173,450	1,214,165
雑費	275,597	35,307	240,290
管理費	924,360	2,107,471	△ 1,183,111
役員報酬	121,500	228,900	△ 107,400
給料手当	548,000	717,281	△ 169,281
会議費	24,582	56,250	△ 31,668
旅費交通費	155,545	27,835	127,710
減価償却費	74,733	73,733	1,000
賃借料	0	43,000	△ 43,000
保険料	0	146,500	△ 146,500
租税公課	0	601,100	△ 601,100
雑費	0	78,577	△ 78,577
その他管理費	0	134,295	△ 134,295
経常費用計	31,901,414	28,103,870	3,797,544
評価損益等調整前当期経常増減額	1,665,374	3,877,859	△ 2,212,485
基本財産評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,665,374	3,877,859	△ 2,212,485
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産受贈益	797,430	0	797,430
什器備品受贈益	124,156	0	124,156
ソフトウェア受贈益	161,000	0	161,000
権利受贈益	512,274	0	512,274
経常外収益計	797,430	0	797,430
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	797,430	0	797,430
当期一般正味財産増減額	2,462,804	3,877,859	△ 1,415,055
一般正味財産期首残高	7,129,253	3,251,394	3,877,859
一般正味財産期末残高	9,592,057	7,129,253	2,462,804
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	△ 232,500	△ 232,500	0
当期指定正味財産増減額	△ 232,500	△ 232,500	0
指定正味財産期首残高	3,406,875	3,639,375	△ 232,500
指定正味財産期末残高	3,174,375	3,406,875	△ 232,500
III 正味財産期末残高	12,766,432	10,536,128	2,230,304

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
定額法を採用している。
- (2) 消費税等の会計処理
税込方式により行っている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
合 計	3,000,000	0	0	3,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)
基本財産		
定期預金	3,000,000	(3,000,000)
合 計	3,000,000	(3,000,000)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高(直接法により減価償却を行っている場合)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	1,309,800	1,064,430	245,370
什器備品	1,750,011	587,427	1,162,584
ソフトウェア	161,000	80,500	80,500
権利	512,274	102,454	409,820
合 計	3,733,085	1,834,811	1,898,274

5. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

(貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合)

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	9,724,745		9,724,745
合 計	9,724,745	0	9,724,745

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
長野県元気づくり支援金	長野県	0	1,300,000	1,300,000	0	—
東御市運営補助金	東御市	0	5,900,000	5,900,000	0	—
助成金						
日本財団福祉車両助成金	日本財団	406,875		232,500	174,375	指定正味財産
合 計		406,875	7,200,000	7,432,500	174,375	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替	232,500
合 計	232,500

附属明細書

1. 基本財産の明細

基本財産については、財務諸表に対する注記に記載しており、内容の記載を省略する。

財 産 目 録

平成25年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額	
【流動資産】	預金	普通預金 八十二銀行田中支店	運転資金として 892,300	
		普通預金 佐久浅間農業協同組合北御牧支所	運転資金として 1,300,081	
		普通預金 佐久浅間農業協同組合北御牧支所	元気づくり支援金事業資金として 18	
			<預金計>	2,192,399
	未収金	東御市他	事業収益等未収分	9,724,745
			<未払金計>	9,724,745
立替金	東御の子どもの元気な育ちを支える ネットワーク		4,115,574	
		<立替金計>	4,115,574	
流動資産合計			16,032,718	
【固定資産】	基本財産	定期預金	定期預金 佐久浅間農業協同組合北御牧支所	公益目的保有財産である。 3,000,000
				<基本財産合計>
	その他 固定資産	車両運搬具	車両1台	公益目的保有財産であり、各事業及び管理 業務で使用している共有財産である。 245,370
		什器備品	パソコン2台	共有財産でありため、使用割合により、 下記のとおり按分している。 50%(期末帳簿価額62,230円)は、公益目的 の事業に使用している。 50%(期末帳簿価額62,230円)は、管理業務 に使用している。 124,460
			サーバーシステム整備他	公益目的保有財産であり、各事業及び管理 業務で使用している共有財産である。 1,038,124
	ソフトウェア	公益法人会計ソフト	公益目的保有財産であり、各事業及び管理 業務で使用している共有財産である。 80,500	
	権利	商標登録	公益目的保有財産である。 409,820	
			<その他固定資産合計 >	1,898,274
固定資産合計			4,898,274	
資産合計			20,930,992	
【流動負債】	未払金	(福)みまき福祉会他	事業費等未払分 4,683,394	
	預り金	役職員他	源泉徴収税、社会保険料、住民税 481,166	
	短期借入金	JA佐久浅間北御牧支所	運転資金借入金として 3,000,000	
流動負債合計			8,164,560	
負債合計			8,164,560	
正味財産			12,766,432	

監 査 報 告 書

私監事は、平成 24 年度（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）の事業報告書、貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）、並びに、附属明細書を監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。

平成 25 年 5 月 24 日

監 事

竹内春彦

監 事

清水新一

平成 25 年 6 月 8 日

公益財団法人身体教育医学研究所
代表理事 田丸基廣様

公益財団法人身体教育医学研究所
監事 竹内春彦

監事 清水新一

公益財団法人身体教育医学研究所平成 24 年度決算監査の
顛末と監査意見について（報告）

公益財団法人身体教育医学研究所定款第 9 条、第 25 条の規定により、みだしの監査を平成 25 年 5 月 24 日に実施しました。

その顛末と意見について次のとおり報告いたします。

記

1、総括意見

平成 23 年 3 月 22 日付で公益財団法人に認定されて以降当年度は定款第 3 条に規定する目的の実現に当り、東御市をはじめ構成団体との不離一体の関係を強めるために代表理事・業務執行理事・所長の区分・執行体制の充実を図られ、中期 4 ヶ年計画初年度に掲げた健康づくりと公共政策づくりを推進された結果、定款 4 条に規定する事業に対して多くの実績を挙げられました。

公益財団法人設立後日の浅い中での活動には公共性と採算性の両立の難しさが内在している一面も窺えますが、総体的に見て努力の成果は顕著でありその労を多と認めます。

2、個別意見

(1) 事業の執行について

国・県・東御市・地方公共団体をはじめ各種団体の事業の受託を積極的に行い、公益 1 号（調査研究）・公益 2 号（教育啓発）・公益 3 号（情報発信）に幅広い実績を残され、例えば公益 2 号「健康づくり事業等の受託及び協力」においては合計 738 件参加延人員 16,395 人及び公益 2 号「教育啓発に関する事業」は 1,022 件参加延人員 20,823 人と幅広く取組み、受託責任を果たし一定の評価を得ております。

しかしながら事業の推進に当って東御市のシンクタンクとしての役割と位置づ

けや東御市各部署、教育委員会とのより連携強化など課題解決に向けての配慮が必要とする面が内在しておりますので、今後の適切な調整を希望いたします。

また事業の受託に当っては担当職員の労務の過重や偏重に配慮することも重要と思料いたします。

よって平成 25 年度の事業の執行に当っては、中期計画第 2 年度活動計画をベースに目指す方向への着実な歩みを進められることを切望いたします。

(2) 決算について

公益法人の事業活動の計数的統制とその能率的運営を図るため定められている経理規程に沿って適確な処理がなされ、その内容は試査の結果正確と認めます。

しかしながら公益財団法人としての堅実な体質を保持するための課題が次のとおり存在しております。改善に向けて一層の配慮なされることを期待いたします。

ア、当期一般正味財産増減額（当期残余金）は 2,462,804 円となり、決算上の収支均衡は保たれていることが窺えます。

しかしながら地方公共団体からの事業の受託とその成果、事業収益実現の特殊性から、流動資産合計額 16,032,718 円は前年度に比べて 4,236,744 円増加しているも期末現金預金は 2,192,399 円と少額で、短期借入金残高 300 万円を加味すると実質的な運用資金不足は 807,601 円の実態にあり、この解消に向けての具体的な対処が課題となっております。

イ、上記については中期計画の運営計画「財務基盤」の中でも一過性の財源への依存体質から脱するため寄付金や賛助会費等新たな自主財源を模索することが提起されております。現状の実態に鑑みてもこの計画の実践は当公益財団法人の体系的継続性を保つ上からも重要なテーマと考えられます。

これが実現に向け取組まれることを望みます。

(3) 今後の検討課題について

平成 24 年度の正味財産期末残高は 12,766,432 円で前年度と比べて 2,230,304 円増加し健全な財務のため配慮されたことが窺えます。

公益法人には各事業年度において収支相償が課せられ、原則として収支均衡することが求められております。

しかしながら不測の事態や特殊性を持つ事業の活動を展開するためには「特定費用準備資金」の積立ても重要と考えられますので、積立額の目安と併せて基本財産の造成についての方向付けをすることが課題と思料いたします。的確な検討を希望して止みません。